



CHAPTER 5

CTMS Show コマンド

この章では、次の Cisco TelePresence Multipoint Switch (CTMS) **show** CLI コマンドについて説明します。CTMS CLI コマンドの使用の詳細については、このマニュアルの「Cisco TelePresence Multipoint Switch CLI コマンドの使用」を参照してください。

- 「[show account](#)」 (P.5-4)
- 「[show active conference](#)」 (P.5-5)
- 「[show badep](#)」 (P.5-6)
- 「[show conferencetermination](#)」 (P.5-7)
- 「[show cuvc dialrepeatinterval](#)」 (P.5-8)
- 「[show cuvc dialrepeattime](#)」 (P.5-9)
- 「[show damping](#)」 (P.5-10)
- 「[show details](#)」 (P.5-11)
- 「[show diskusage activelog](#)」 (P.5-12)
- 「[show diskusage common](#)」 (P.5-13)
- 「[show diskusage inactivelog](#)」 (P.5-14)
- 「[show diskusage install](#)」 (P.5-15)
- 「[show diskusage tmp](#)」 (P.5-16)
- 「[show dscp packet](#)」 (P.5-17)
- 「[show feedbackwaittime](#)」 (P.5-18)
- 「[show feedbackwaitbasetime](#)」 (P.5-19)
- 「[show firewall list](#)」 (P.5-20)
- 「[show hardware](#)」 (P.5-23)
- 「[show holdresume](#)」 (P.5-24)
- 「[show lateendmins](#)」 (P.5-25)
- 「[show logins](#)」 (P.5-26)
- 「[show memory count](#)」 (P.5-27)
- 「[show memory module](#)」 (P.5-28)
- 「[show memory size](#)」 (P.5-29)
- 「[show myself](#)」 (P.5-30)

- 「show network all」 (P.5-31)
- 「show network eth0」 (P.5-33)
- 「show network failover」 (P.5-34)
- 「show network ip_contrack」 (P.5-35)
- 「show network max_ip_contrack」 (P.5-36)
- 「show network route」 (P.5-37)
- 「show network status」 (P.5-38)
- 「show open files all」 (P.5-39)
- 「show open files process」 (P.5-40)
- 「show open files regexp」 (P.5-41)
- 「show open ports all」 (P.5-42)
- 「show open ports regexp」 (P.5-43)
- 「show packages」 (P.5-44)
- 「show process list」 (P.5-45)
- 「show process load」 (P.5-46)
- 「show process name」 (P.5-48)
- 「show process open-fd」 (P.5-49)
- 「show process pid」 (P.5-50)
- 「show process search」 (P.5-51)
- 「show process user」 (P.5-52)
- 「show process using-most cpu」 (P.5-53)
- 「show process using-most memory」 (P.5-54)
- 「show rtpsleap」 (P.5-55)
- 「show snmp trapdests」 (P.5-56)
- 「show snmp users」 (P.5-57)
- 「show statistics」 (P.5-58)
- 「show stats io」 (P.5-61)
- 「show status」 (P.5-62)
- 「show syslog facilities」 (P.5-64)
- 「show syslog heartbeat facility」 (P.5-65)
- 「show syslog heartbeat interval」 (P.5-66)
- 「show syslog heartbeat msg」 (P.5-67)
- 「show syslog heartbeat severity」 (P.5-68)
- 「show syslog timezone」 (P.5-69)
- 「show syslog version」 (P.5-70)
- 「show tech all」 (P.5-71)
- 「show tech network all」 (P.5-72)
- 「show tech network hosts」 (P.5-73)

- 「show tech network interfaces」 (P.5-74)
- 「show tech network resolv」 (P.5-75)
- 「show tech network routes」 (P.5-76)
- 「show tech network sockets」 (P.5-77)
- 「show tech runtime all」 (P.5-78)
- 「show tech runtime cpu」 (P.5-79)
- 「show tech runtime disk」 (P.5-80)
- 「show tech runtime env」 (P.5-81)
- 「show tech runtime memory」 (P.5-82)
- 「show tech system all」 (P.5-83)
- 「show tech system bus」 (P.5-84)
- 「show tech system hardware」 (P.5-85)
- 「show tech system host」 (P.5-86)
- 「show tech system kernel modules」 (P.5-87)
- 「show tech system software」 (P.5-88)
- 「show tech system tools」 (P.5-89)
- 「show threshold」 (P.5-90)
- 「show timezone」 (P.5-91)
- 「show version」 (P.5-93)
- 「show workingdir」 (P.5-94)



(注)

CTMS Administration ソフトウェアの使用方法の詳細については、次の URL に掲載されている『Cisco TelePresence Multipoint Switch Release 1.5 Administration Guide』を参照してください。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps7315/prod_maintenance_guides_list.html

show account

show account

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン マスター管理者アカウント以外のすべての管理アカウントのリストを表示するために使用します。

例

```
admin:show account
Name = test, Privilege = 1
```

show active conference

show active conference

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン アクティブな会議識別番号のリストを表示するために使用します。

例
admin:show active conference
9059578056

show badep

show badep

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 不良エンドポイント検出がイネーブルまたはディセーブルのどちらであるかを表示するために使用します。

例

```
admin:show badep
Current setting to drop bad endpoint: enable
```

show conferencetermination

show conferencetermination

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 会議を会議終了の設定（イネーブルまたはディセーブル）とともに表示するために使用します。

例 admin: `show conferencetermination`

show cuvdialrepeatinterval

show cuvdialrepeatinterval

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン Cisco Unified Video Conferencing (CUVC) のリダイヤル時間を秒単位で表示するために使用します。

例 admin: `show cuvdialrepeatinterval`

show cuvc dialrepeattime

show cuvc dialrepeattime

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 設定されている Cisco Unified Video Conferencing (CUVC) のリダイヤル再試行値を表示するために使用します。

例

```
admin:show cuvc dialrepeattime
cuvc retry time is 50
```

show damping

show damping {s | l | b | o}

シンタックスの説明

s	スイッチング モード。スイッチング ダンプニングとは、スピーカーをアクティブに切り替えるために、話し続ける必要がある時間のことです。
l	講義モード。講義ダンプニングとは、講義モードを中断するために、講師以外の人話し続ける必要がある時間のことです。
b	バウンス モード。バウンス ダンプニングとは、バウンスバック ソースを無効にするために、話し続ける必要がある時間のことです。
o	無効モード。無効ダンプニングとは、バウンスバック ソースが無効になってから、元に戻るまでの時間のことです。

コマンド モード

Admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

定義されているダンプニング モードのダンプニング速度を表示するために使用します。

例

```
admin:show damping s
Damping time is currently set to medium
admin:show damping l
Lecture damping time is currently set to medium
```

show details

show details {conference | participant}

シンタックスの説明

conference	会議識別番号
participant	参加者識別番号

コマンドモード

Admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

会議識別番号別または参加者識別番号別に会議の詳細を表示するために使用します。

例

```
admin:show details conference 9059578056
Conference Id: 9059578056
Conference type: Immediate
Participant list: 11080, 11081, 11082
Conference description: TESTING
Switching policy: SITE
AutoLecture Mode: false
Video Announce: true
Total segments: 3
Resolution & Bandwidth: 1080p 4Mbps
IsLocked: false
```

show diskusage activelog

show diskusage activelog [file *fname*] [directory] [sort]

シンタックスの説明	file <i>fname</i>	出力をファイル形式で保存します。
	directory	1024 バイト ブロックで、ディレクトリ サイズだけを表示します。
	sort	出力をサイズでソートします。

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 特定のディレクトリのディスク使用状況およびそのディレクトリが配置されているディスクパーティションの使用状況を表示するために使用します。保存した出力ファイルは、**file view activelog** コマンドを使用して表示できます。

例

```
admin:show diskusage activelog

This command can take significantly long time,
and can also effect the system wide IOWAIT on your system.
Continue (y/n)?
```

show diskusage common

show diskusage common [file *fname*] [directory] [sort]

シンタックスの説明	パラメータ	説明
	file <i>fname</i>	出力をファイル形式で保存します。
	directory	1024 バイトブロックで、ディレクトリ サイズだけを表示します。
	sort	出力をサイズ (1024 バイトブロック) でソートします。

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 特定のディレクトリのディスク使用状況およびそのディレクトリが配置されているディスクパーティションの使用状況を表示するために使用します。保存した出力ファイルは、**file view activelog** コマンドを使用して表示できます。

例 admin:show diskusage common

```
This command can take significantly long time,
and can also effect the system wide IOWAIT on your system.
Continue (y/n)?
```

show diskusage inactivelog

show diskusage inactivelog [file *fname*] [directory] [sort]

シンタックスの説明	file <i>fname</i>	出力をファイル形式で保存します。
	directory	1024 バイト ブロックで、ディレクトリ サイズだけを表示します。
	sort	出力をサイズ (1024 バイト ブロック) でソートします。

コマンド モード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 特定のディレクトリのディスク使用状況およびそのディレクトリが配置されているディスク パーティションの使用状況を表示するために使用します。保存した出力ファイルは、**file view activelog** コマンドを使用して表示できます。

例 admin:**show diskusage inactivelog**

```
This command can take significantly long time,
and can also effect the system wide IOWAIT on your system.
```

```
Continue (y/n)?
```

show diskusage install

show diskusage install [file *fname*] [directory] [sort]

シンタックスの説明	file <i>fname</i>	出力をファイル形式で保存します。ファイルは <code>platform/cli/fname</code> で保存されます。
	directory	1024 バイトブロックで、ディレクトリだけを表示します。
	sort	出力をサイズ (1024 バイトブロック) でソートします。

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 特定のディレクトリのディスク使用状況およびそのディレクトリが配置されているディスクパーティションの使用状況を表示するために使用します。保存した出力ファイルは、**file view activelog** コマンドを使用して表示できます。

例 admin:show diskusage install

```
This command can take significantly long time,  
and can also effect the system wide IOWAIT on your system.  
Continue (y/n)?
```

show diskusage tmp

show diskusage tmp [file *fname*] [directory] [sort]

シンタックスの説明

file <i>fname</i>	出力をファイル形式で保存します。ファイルは <code>platform/cli/fname</code> で保存されます。
directory	1024 バイト ブロックで、ディレクトリだけを表示します。
sort	出力をサイズ (1024 バイト ブロック) でソートします。

コマンドモード

Admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

特定のディレクトリのディスク使用状況およびそのディレクトリが配置されているディスクパーティションの使用状況を表示するために使用します。保存した出力ファイルは、**file view activelog** コマンドを使用して表示できます。

例

```
admin:show diskusage tmp
```

```
This command can take significantly long time,
and can also effect the system wide IOWAIT on your system.
Continue (y/n)?
```


show dscp packet

show dscp packet

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン メディア パケットに挿入されている、DSCP の設定値を表示するために使用します。

例
admin:show dscp packet
Current DSCP value:128

show feedbackwaittime

set feedbackwaittime confid *number*

シンタックスの説明	confid <i>number</i>	会議識別番号
-----------	----------------------	--------

コマンドモード	Admin
---------	-------

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 会議のフィードバック待機時間（ミリ秒）の情報を戻すために使用します。フィードバック待機時間は、会議ごとの最大遅延にフィードバックの基本待機時間を足した時間です。

例

```
admin:show feedbackwaittime 9059578056
FBWaitTime=254
```

show feedbackwaitbasetime

show feedbackwaitbasetime

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.1	このコマンドは初めて文書化されました。


使用上のガイドライン RTP フィードバックの基本待機時間をミリ秒で表示するために使用します。

例
admin:show feedbackwaitbasetime
Current Feedback wait base time is 250 ms

show firewall list

show firewall list [detail] [page] [file name]

シンタックスの説明

detail	詳細を表示します。
page	1 ページごとに入力を一時停止します。
file name	指定したファイル名に情報を出力します。
	
(注)	ファイルは <code>platform/cli/fname.txt</code> で保存されます。 <i>name</i> では、ピリオドを使用しないでください。

コマンドモード

Admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

現在のファイアウォール ポート情報のリストを表示するために使用します。

例

```
admin:show firewall list
Chain INPUT (policy ACCEPT)
target    prot opt source                destination
DROP     all  -- localhost            anywhere
ACCEPT   udp  -- anywhere             anywhere       udp dpt:syslog
DROP     udp  -- anywhere             anywhere       udp dpt:syslog
ACCEPT   ipv6-crypt-- anywhere            anywhere
ACCEPT   icmp -- anywhere            anywhere       icmp echo-request limit: avg
10/sec burst 5
LOG      icmp -- anywhere            anywhere       icmp echo-request limit: avg
1/min burst 5 LOG level warning prefix `ping flood '
DROP     icmp -- anywhere            anywhere       icmp echo-request
DROP     tcp  -- anywhere            anywhere       tcp dpt:ftp
DROP     udp  -- anywhere            anywhere       udp dpt:ftp
DROP     tcp  -- anywhere            anywhere       tcp dpt:telnet
DROP     udp  -- anywhere            anywhere       udp dpt:telnet
DROP     tcp  -- anywhere            anywhere       tcp dpt:tftp
DROP     tcp  -- anywhere            anywhere       tcp dpt:gopher
DROP     udp  -- anywhere            anywhere       udp dpt:gopher
DROP     tcp  -- anywhere            anywhere       tcp dpt:finger
DROP     udp  -- anywhere            anywhere       udp dpt:finger
DROP     udp  -- anywhere            anywhere       udp dpt:http
DROP     tcp  -- anywhere            anywhere       tcp dpt:rtelnet
DROP     udp  -- anywhere            anywhere       udp dpt:rtelnet
DROP     tcp  -- anywhere            anywhere       tcp dpt:pop2
DROP     udp  -- anywhere            anywhere       udp dpt:pop2
DROP     tcp  -- anywhere            anywhere       tcp dpt:pop3
DROP     udp  -- anywhere            anywhere       udp dpt:pop3
DROP     tcp  -- anywhere            anywhere       tcp dpt:sunrpc
DROP     udp  -- anywhere            anywhere       udp dpt:sunrpc
```

```

DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:uucp-path
DROP      udp  --  anywhere      anywhere      udp  dpt:uucp-path
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:imap
DROP      udp  --  anywhere      anywhere      udp  dpt:imap
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:xmcp
DROP      udp  --  anywhere      anywhere      udp  dpt:xmcp
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:nextstep
DROP      udp  --  anywhere      anywhere      udp  dpt:nextstep
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:irc
DROP      udp  --  anywhere      anywhere      udp  dpt:irc
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:imap3
DROP      udp  --  anywhere      anywhere      udp  dpt:imap3
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:faterv
DROP      udp  --  anywhere      anywhere      udp  dpt:faterv
DROP      udp  --  anywhere      anywhere      udp  dpt:https
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:saft
DROP      udp  --  anywhere      anywhere      udp  dpt:saft
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:shell
DROP      udp  --  anywhere      anywhere      udp  dpt:syslog
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:printer
DROP      udp  --  anywhere      anywhere      udp  dpt:printer
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:uucp
DROP      udp  --  anywhere      anywhere      udp  dpt:540
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:klogin
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:kshell
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:remotefs
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:ipp
DROP      udp  --  anywhere      anywhere      udp  dpt:ipp
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:676
DROP      udp  --  anywhere      anywhere      udp  dpt:676
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:rsync
DROP      udp  --  anywhere      anywhere      udp  dpt:rsync
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:telnets
DROP      udp  --  anywhere      anywhere      udp  dpt:telnets
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:imaps
DROP      udp  --  anywhere      anywhere      udp  dpt:imaps
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:pop3s
DROP      udp  --  anywhere      anywhere      udp  dpt:pop3s
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:nfs
DROP      udp  --  anywhere      anywhere      udp  dpt:nfs
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:x11
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:6001
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:6002
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:6003
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:6004
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:6005
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:6006
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:6007
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:6008
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:6009
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:xfx
ACCEPT    tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:https
ACCEPT    tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:http
ACCEPT    tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:1500
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:1500
ACCEPT    udp  --  anywhere      anywhere      udp  dpt:1500
DROP      udp  --  anywhere      anywhere      udp  dpt:1500
ACCEPT    tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:1501
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:1501
ACCEPT    udp  --  anywhere      anywhere      udp  dpt:1501
DROP      udp  --  anywhere      anywhere      udp  dpt:1501
ACCEPT    tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:1502
DROP      tcp  --  anywhere      anywhere      tcp  dpt:1502
ACCEPT    udp  --  anywhere      anywhere      udp  dpt:1502

```

show firewall list

```

DROP      udp  --  anywhere          anywhere          udp  dpt:1502
ACCEPT    tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:1503
DROP      tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:1503
ACCEPT    udp  --  anywhere          anywhere          udp  dpt:1503
DROP      udp  --  anywhere          anywhere          udp  dpt:1503
ACCEPT    tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:1504
DROP      tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:1504
ACCEPT    udp  --  anywhere          anywhere          udp  dpt:1504
DROP      udp  --  anywhere          anywhere          udp  dpt:1504
ACCEPT    tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:1505
DROP      tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:1505
ACCEPT    udp  --  anywhere          anywhere          udp  dpt:1505
DROP      udp  --  anywhere          anywhere          udp  dpt:1505
ACCEPT    tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:1515
DROP      tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:1515
ACCEPT    udp  --  anywhere          anywhere          udp  dpt:1515
DROP      udp  --  anywhere          anywhere          udp  dpt:1515
ACCEPT    tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:8009
DROP      tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:8009
ACCEPT    tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:8083
DROP      tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:8083
ACCEPT    tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:8093
DROP      tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:8093
ACCEPT    tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:krb524
DROP      tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:krb524
ACCEPT    tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:4445
DROP      tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:4445
ACCEPT    tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:5001
DROP      tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:5001
ACCEPT    tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:1098
DROP      tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:1098
ACCEPT    tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:8999
DROP      tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:8999
ACCEPT    tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:12100
DROP      tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:12100
ACCEPT    tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:12101
DROP      tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:12101
ACCEPT    tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:12102
DROP      tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:12102
ACCEPT    tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:12103
DROP      tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:12103
ACCEPT    tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:12104
DROP      tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:12104
ACCEPT    tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:9700
DROP      tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:9700
ACCEPT    tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:9000
DROP      tcp  --  anywhere          anywhere          tcp  dpt:9000

```

```

Chain FORWARD (policy ACCEPT)
target      prot opt source          destination

```

```

Chain OUTPUT (policy ACCEPT)
target      prot opt source          destination

```

show hardware

show hardware

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 基本的なハードウェア情報を取得するために使用します。

例

```
admin:show hardware

HW Platform      : 7845I2
Processors       : 2
Type             : Intel(R) Xeon(R) CPU           5140 @ 2.33GHz
CPU Speed        : 2333
Memory           : 4096 MBytes
Object ID        : 1.3.6.1.4.1.9.1.587
OS Version       : UCOS 2.0.1.0-41
RAID Details     : Controllers found: 1

-----
Logical drive information
-----
Logical drive number 1
  Logical drive name      : Drive 1
  RAID level              : 1
  Status of logical drive : Okay
  Size                    : 69890 MB
  Read-cache mode        : Enabled
  Write-cache mode       : Enabled (write-back)
  Write-cache setting    : Enabled (write-back)
  Number of chunks       : 2
  Drive(s) (Channel,Device) : 0,0 0,1
Press <enter> for 1 line, <space> for one page, or <q> to quit
```

show holdresume

show holdresume

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 定例会議とスケジュール会議に対する現在のサーバ側の保留/復帰設定を取得するために使用します。

例

```
admin:show holdresume
server side hold_resume is enabled
```


show lateendmins

show lateendmins

シンタックスの説明 None

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 会議の終了予定時刻を過ぎたときに、その会議を終了するまでの分数を表示するために使用します。

例 admin:show lateendmins

show logins

show logins [*number*]

シンタックスの説明

<i>number</i>	この省略可能なパラメータを使用して、表示するログインの数を指定できます。0 を指定すると、保存されているすべてのログインが表示されます。デフォルトは 20 です。
---------------	---

コマンドモード

Admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

プラットフォーム管理者のログインを表示するために使用します。

例

```
admin:show logins
```

```
admin pts/0 dhcp-171-71-227- Wed Aug 6 22:09 still logged in
admin pts/1 dhcp-171-70-12-1 Wed Aug 6 21:52 - 21:55 (00:02)
admin pts/0 dilkrish-lnx2.ci Wed Aug 6 21:50 - 22:09 (00:19)
dhroot pts/24 tsbu-lnx-3.cisco Wed Aug 6 19:09 - 19:48 (00:39)
admin pts/24 tsbu-lnx-3.cisco Wed Aug 6 19:09 - 19:09 (00:00)
dhroot pts/21 tsbu-lnx-3.cisco Wed Aug 6 18:54 - 19:10 (00:16)
dhroot pts/20 tsbu-lnx-3.cisco Wed Aug 6 18:54 - 19:10 (00:16)
dhroot pts/17 tsbu-lnx-3.cisco Wed Aug 6 18:54 - 19:10 (00:16)
dhroot pts/16 tsbu-lnx-3.cisco Wed Aug 6 18:54 - 19:10 (00:16)
admin pts/19 tsbu-lnx-3.cisco Wed Aug 6 18:54 - 18:54 (00:00)
admin pts/18 tsbu-lnx-3.cisco Wed Aug 6 18:54 - 18:54 (00:00)
admin pts/17 tsbu-lnx-3.cisco Wed Aug 6 18:54 - 18:54 (00:00)
admin pts/16 tsbu-lnx-3.cisco Wed Aug 6 18:54 - 18:54 (00:00)
dhroot pts/14 tsbu-lnx-3.cisco Wed Aug 6 18:53 - 19:47 (00:54)
dhroot pts/11 tsbu-lnx-3.cisco Wed Aug 6 18:53 - 19:47 (00:54)
dhroot pts/10 tsbu-lnx-3.cisco Wed Aug 6 18:53 - 19:47 (00:54)
dhroot pts/7 tsbu-lnx-3.cisco Wed Aug 6 18:53 - 19:47 (00:54)
dhroot pts/6 tsbu-lnx-3.cisco Wed Aug 6 18:53 - 19:47 (00:54)
admin pts/10 tsbu-lnx-3.cisco Wed Aug 6 18:53 - 18:53 (00:00)
admin pts/9 tsbu-lnx-3.cisco Wed Aug 6 18:53 - 18:53 (00:00)
```

show memory count

show memory count

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン システムで使用可能な物理モジュールの合計数を表示するために使用します。

例

```
admin:show memory count

Total number of modules: 4
```

show memory module

show memory module [*number* | ALL]

シンタックスの説明

<i>number</i>	メモリ モジュールの数を指定します。
ALL	すべてのメモリ モジュールを表示します。

コマンドモード

Admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

プラットフォーム管理者のログインを表示するために使用します。

例

```
admin:show memory module ALL
Slot   Type   Size  Status
0      DIMM   1.0GB Ok
1      DIMM   1.0GB Ok
```

show memory size

show memory size

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン システムで使用可能な物理メモリ サイズの合計を表示するために使用します。

例 admin:show memory size

show myself

show myself

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 現在のアカウントに関する情報を表示するために使用します。

例

```
admin:show myself
Machine Name      : tsbu-sr2
account name      : admin
privilege level   : 4
output setting    : disabled
logging setting   : disabled
```

show network all

show network all

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン すべての **show network** コマンド情報を表示するために使用します。

例

```
admin:show network all
Ethernet 0
DHCP      : disabled          Status      : up
IP Address : 172.28.68.76     IP Mask     : 255.255.252.0
Link Detected: yes          Mode        : Auto enabled, Full, 1000MB/s
Duplicate IP : no

DNS
Primary   : 171.70.168.183   Secondary  : 171.68.226.120
Options   : timeout:5 attempts:2
Domain    : cisco.com
Gateway   : 172.28.68.1 on Ethernet 0
172.28.68.0/22 dev eth0 proto kernel scope link src 172.28.68.76
169.254.0.0/16 dev eth0 scope link
default via 172.28.68.1 dev eth0

Active Internet connections (w/o servers)
Proto Recv-Q Send-Q Local Address           Foreign Address         State
tcp      0      0 localhost:12101         localhost:42806        ESTABLISHED
tcp      0      0 localhost:9500          localhost:35897        TIME_WAIT
tcp      0      0 localhost:9500          localhost:35896        TIME_WAIT
tcp      0      0 tsbu-dhsr-76.cisco.co:35612 tsbu-ccm-b19.cisco.com:5060 ESTABLISHED
tcp      0      0 localhost:12101         localhost:42752        ESTABLISHED
tcp      0      0 localhost:9000          localhost:32795        ESTABLISHED
tcp      0      0 tsbu-dhsr-76.cisco.com:5060 tsbu-ccm-b19.cisco.co:33559 ESTABLISHED
tcp      0      0 localhost:32795         localhost:9000         ESTABLISHED
tcp      0      0 localhost:12101         localhost:44268        ESTABLISHED
tcp      0      0 localhost:12101         localhost:40958        ESTABLISHED
tcp      0      0 localhost:12101         localhost:44278        ESTABLISHED
tcp      0      0 tsbu-dhsr-76.cisco.com:ssh dhcp-171-71-227-202.ci:2316 ESTABLISHED
tcp      0      0 tsbu-dhsr-76.cisco.com:8443 dhcp-171-70-12-166.cis:4069 ESTABLISHED
tcp      0      0 tsbu-dhsr-76.cisco.com:8443 dhcp-171-70-12-166.cis:4068 ESTABLISHED

Active UNIX domain sockets (w/o servers)
Proto RefCnt Flags      Type           State          I-Node Path
unix  14      [ ]        DGRAM          5112           /dev/log
unix  2       [ ]        DGRAM          8829728
unix  3       [ ]        STREAM         CONNECTED      8803057
unix  3       [ ]        STREAM         CONNECTED      8803056
```

■ show network all

```
unix 2 [ ] DGRAM 28107
unix 2 [ ] DGRAM 28101
unix 2 [ ] DGRAM 28084
unix 2 [ ] DGRAM 14227
unix 2 [ ] DGRAM 11947
unix 2 [ ] DGRAM 10619
unix 2 [ ] DGRAM 10548
unix 2 [ ] DGRAM 10443
unix 2 [ ] STREAM CONNECTED 9469
unix 2 [ ] DGRAM 5334
unix 2 [ ] DGRAM 5302
unix 2 [ ] DGRAM 5275
unix 2 [ ] DGRAM 5121
```


show network eth0

show network eth0

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 基本的なイーサネット 0 プラットフォーム ネットワーク情報を表示するために使用します。

例

```
admin:show network eth0
Ethernet 0
DHCP      : disabled           Status      : up
IP Address : 172.28.68.76      IP Mask     : 255.255.252.0
Link Detected: yes           Mode        : Auto enabled, Full, 1000MB/s
Duplicate IP : no

DNS
Primary   : 171.70.168.183     Secondary   : 171.68.226.120
Options   : timeout:5 attempts:2
Domain    : cisco.com
Gateway   : 172.28.68.1 on Ethernet 0
```

show network failover

show network failover

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン NIC Teaming ネットワーク耐障害性情報を表示するために使用します。

例

```
admin:show network failover
Network Fault Tolerance is not configured.
```

show network ip_conntrack

show network ip_conntrack

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン ip_conntrack の現在の使用状況を取得するために使用します。

例 admin:show network ip_conntrack

56

show network max_ip_conntrack

show network max_ip_conntrack

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 現在の ip_conntrack_max 情報を取得するために使用します。

例

```
admin:show network max_ip_conntrack  
256000
```

show network route

show network route

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 現在の基本的なネットワーク ルート情報を表示するために使用します。

例

```
admin:show network route
10.94.150.0/24 dev eth0 proto kernel scope link src 10.94.150.94
169.254.0.0/16 dev eth0 scope link
default via 10.94.150.1 dev eth0
```

フェールオーバー（NFT）が有効の場合の例：

```
admin:show network route
10.94.150.0/24 dev bond0 proto kernel scope link src 10.94.150.98
10.94.150.0/24 dev eth0 proto kernel scope link src 10.94.150.98
10.94.150.0/24 dev eth1 proto kernel scope link src 10.94.150.98
169.254.0.0/16 dev bond0 scope link
default via 10.94.150.1 dev bond0
```

show network status

show network status [search name]

シンタックスの説明

search name	省略可能な検索機能。変数 <i>name</i> は、ネットワークを示すテキスト文字列です。文字列では、スペースとタブを使用できず、大文字と小文字を区別しません。
--------------------	---

コマンドモード

Admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

現在の基本的なネットワーク ルート情報を取得するために使用します。

例

```
admin:show network status
Active Internet connections (w/o servers)
Proto Recv-Q Send-Q Local Address           Foreign Address         State
tcp      0      0 vv1-rush.cisco.com:40266 vv1-rush.cisco:vv1_rush_ccm ESTABLISHED
tcp      0      0 localhost:32824         localhost:8001          ESTABLISHED
```

省略可能な **search name** を指定した例：

```
admin:show network status search cisco.com
tcp      0      0 vv1-rush.cisco.com:38775 vv1-rush.cisco:vv1_rush_ccm ESTABLISHED
tcp      0      0 vv1-rush.cisco.com:ssh  philly.cisco.com:48528    ESTABLISHED
tcp      0      0 vv1-rush.cisco.com:46993 vv1-rush.cisco.com:32812  TIME_WAIT
```

show open files all

show open files all

シンタックスの説明 none

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン デバイスで開いているすべてのファイルを表示するために使用します。

例 admin:show open files all

```

Executing.. please wait.
COMMAND      PID      USER    FD      TYPE    DEVICE    SIZE      NODE NAME
init          1        root    cwd     DIR     104,2     4096      2 /
init          1        root    rtd     DIR     104,2     4096      2 /
init          1        root    txt     REG     104,2     31184     473358 /sbin/init
init          1        root    mem     REG     104,2     105213    424335 /lib/ld-2.3.4.so
init          1        root    mem     REG     104,2     52400     424423 /lib/libsep01.so.1
init          1        root    10u    FIFO    0,13      0         1036 /dev/initctl
migration    2        root    cwd     DIR     104,2     4096      2 /
migration    2        root    rtd     DIR     104,2     4096      2 /
migration    2        root    txt     unknown  /proc/2/exe
ksoftirqd   3        root    cwd     DIR     104,2     4096      2 /
ksoftirqd   3        root    rtd     DIR     104,2     4096      2 /
ksoftirqd   3        root    txt     unknown  /proc/3/exe
migration    4        root    cwd     DIR     104,2     4096      2 /
migration    4        root    rtd     DIR     104,2     4096      2 /
migration    4        root    txt     unknown  /proc/4/exe
ksoftirqd   5        root    cwd     DIR     104,2     4096      2 /
ksoftirqd   5        root    rtd     DIR     104,2     4096      2 /
ksoftirqd   5        root    txt     unknown  /proc/5/exe
migration    6        root    cwd     DIR     104,2     4096      2 /
migration    6        root    rtd     DIR     104,2     4096      2 /
migration    6        root    txt     unknown  /proc/6/exe
ksoftirqd   7        root    cwd     DIR     104,2     4096      2 /
ksoftirqd   7        root    rtd     DIR     104,2     4096      2 /
ksoftirqd   7        root    txt     unknown  /proc/7/exe

```

Press <enter> for 1 line, <space> for one page, or <q> to quit

show open files process

`show open files process {processID1,processID2...}`

シンタックスの説明	<i>processID1...</i>	プロセス ID 番号。複数のプロセスの情報を表示するには、プロセス ID 番号をカンマで区切ります。
------------------	----------------------	--

コマンドモード	Admin
----------------	-------

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	指定したプロセスに属する、デバイスで開いているすべてのファイルを表示するために使用します。
-------------------	---

例	<code>admin:show open files process 1112,2232,4453</code>
----------	---

show open files regexp

show open files regexp “string”

シンタックスの説明	“string”	文字列を示す正規表現。文字列の値は、引用符で囲む必要があります。				
コマンドモード	Admin					
コマンドの履歴	<table><thead><tr><th>リリース</th><th>変更内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>1.5</td><td>このコマンドは初めて文書化されました。</td></tr></tbody></table>	リリース	変更内容	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。	
リリース	変更内容					
1.5	このコマンドは初めて文書化されました。					
使用上のガイドライン	<i>string</i> 値で定義した正規表現に一致する、デバイスで開いているすべてのファイルを表示するために使用します。					
例	admin:show open files regexp "Informix"					

show open ports all

show open ports all

シンタックスの説明 none

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン デバイスで開いているすべてのポートを表示するために使用します。

例 admin:show open ports all

```

Executing.. please wait.
COMMAND  PID    USER  FD  TYPE  DEVICE  SIZE  NODE  NAME
syslogd  3246   root  10u  IPv4  6602    0     0     UDP *:syslog
sshd     3371   root   3u   IPv6  6822    0     0     TCP *:ssh (LISTEN)
java     4009   root   7u   IPv6  8199    0     0     TCP *:8083 (LISTEN)
java     4009   root   9u   IPv6  8202    0     0     TCP *:1098 (LISTEN)
java     4009   root  10u  IPv6  8204    0     0     TCP *:8999 (LISTEN)
java     4009   root  11u  IPv6  8496    0     0     TCP *:webcache (LISTEN)
java     4009   root  12u  IPv6  8207    0     0     TCP *:krb524 (LISTEN)
java     4009   root  13u  IPv6  8210    0     0     TCP *:4445 (LISTEN)
java     4009   root  14u  IPv6  8630    0     0     TCP *:8443 (LISTEN)
java     4009   root  21u  IPv6  9972    0     0     TCP *:5001 (LISTEN)
java     4009   root  27u  IPv6  9978    0     0     TCP *:8009 (LISTEN)
java     4009   root  29u  IPv6  9362    0     0     TCP *:8093 (LISTEN)
dhpagent2 4104   root   4u   IPv4  8362    0     0     TCP *:12104 (LISTEN)
java     4140   root   4u   IPv4  8362    0     0     TCP *:12104 (LISTEN)
MediaProc 4283   root   4u   IPv4  8362    0     0     TCP *:12104 (LISTEN)
MediaProc 4283   root   7u   IPv4  8707    0     0     TCP *:12103 (LISTEN)
MediaProc 4283   root  11u  IPv4  9318    0     0     TCP *:9700 (LISTEN)
ccs      4724   root   4u   IPv4  8362    0     0     TCP *:12104 (LISTEN)
ccs      4724   root   7u   IPv4  9149    0     0     TCP *:12102 (LISTEN)
ccs      4724   root   8u   IPv4  9155    0     0     TCP *:5060 (LISTEN)
ccs      4724   root  12u  IPv4  252024  0     0     TCP 127.0.0.1:32789->127.0.0.1:9000
(ESTABLISHED)
Press <enter> for 1 line, <space> for one page, or <q> to quit

```

show open ports regexp

show open ports regexp “string”

シンタックスの説明	“string”	文字列を示す正規表現。文字列の値は、引用符で囲む必要があります。
-----------	----------	----------------------------------

コマンドモード	Admin
---------	-------

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン	<i>string</i> 値で定義した正規表現に一致する、デバイスで開いているすべてのポートを表示するために使用します。
------------	---

例	admin:show open ports regexp "Informix"
---	---

show packages

show packages {active name | active *} | {inactive name | inactive *}

シンタックスの説明

active name	アクティブ パーティションにある、指定のパッケージのバージョン番号を取得します。
active *	アクティブ パーティションにある、すべてのパッケージのバージョン番号を取得します。
inactive name	非アクティブ パーティションにある、指定のパッケージのバージョン番号を取得します。
inactive *	非アクティブ パーティションにある、すべてのパッケージのバージョン番号を取得します。

コマンドモード

Admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

アクティブまたは非アクティブ パーティションにある、1 つ以上のパッケージのバージョン番号を取得するために使用します。

例

```
admin:show packages active kernel
Active Side Package(s): for kernel package(s)
tg3-kernel-update-2.4.21-47.ELsmp
kernel-smp-2.4.21-47.EL
kernel-pcmcia-cs-3.1.31-19
kernel-2.4.21-47.EL
kernel-utils-2.4-8.37.15
kernel-2.4.2149.ELcustom-1
```

show process list

show process list [*file name*] [*detail*] [*vm*]

シンタックスの説明	file name	出力を別のファイルに保存します。
	detail	プロセス ページ障害、仮想メモリ、開始時刻などのプロセスの詳細情報を表示します。
	vm	プロセスの仮想メモリを表示します。

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン すべてのプロセスのリスト、および各プロセスの重要な情報を取得するために使用します。このコマンドでは、プロセスの親子関係も表示されます。

プロセスの詳細情報を表示するには、**detail** オプションを使用します。

このコマンドの出力をリダイレクトするには、**file name** オプションを使用します。




例

```
admin:show process list
...
5758 /usr/sbin/racoon -F -f /etc/racoon/racoon.conf
5759 /usr/local/platform/bin/servM
7035 \_ /usr/local/cm/bin/dbmon
7985 \_ /usr/local/cm/bin/cdpd -f
8045 \_ /usr/local/platform/bin/enStart
8255 \_ /usr/local/platform/bin/certM
8514 \_ /usr/local/cm/bin/cdragent /usr/local/cm/conf/cdragent/cdragentCfg.xml
8538 \_ /usr/local/cm/bin/RisDC
8551 \_ /usr/local/cm/bin/amc /usr/local/cm/conf/amc/amcCfg.xml
8695 \_ /usr/local/cm/bin/ctftp
6627 /usr/local/cm/bin/cmoninit
6628 \_ /usr/local/cm/bin/cmoninit
6629 \_ /usr/local/cm/bin/cmoninit
6630 \_ /usr/local/cm/bin/cmoninit
6631 \_ /usr/local/cm/bin/cmoninit
6632 \_ /usr/local/cm/bin/cmoninit
...
```

show process load

show process load [cpu | memory | time] [cont] [clear] [noidle] [page] [thread]
[num number | num all]

シンタックスの説明

cont	コマンドを継続的に繰り返します。
clear	出力を表示する前に画面を消去します。
cpu	出力を CPU の使用状況でソートします。オプションを指定しなかった場合、これがデフォルトになります。
	
(注)	このオプションは、他のオプションと組み合わせることができません。
memory	出力をメモリの使用状況でソートします。
	
(注)	このオプションは、他のオプションと組み合わせることができません。
noidle	アイドルと非活動のプロセスを無視します。
page	出力を一時停止します。
thread	スレッドを表示します。
time	出力を時間の使用状況でソートします。
	
(注)	このオプションは、他のオプションと組み合わせることができません。
num number	表示するプロセスの数を定義します。最小値は 1 です。デフォルトは 10 です。
num all	すべてのプロセスを表示します。

コマンドモード

Admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

最も CPU、メモリ、または時間を使用しているプロセスの番号を含む、現在のシステム負荷を表示するために使用します。



(注) cpu、memory、および time オプションは、他のコマンド オプションと組み合わせることができません。複数のオプションを指定した場合、最後のオプションが使用されます。

例

```

admin:show process load num 10
 22:11:35 up 7:50, 4 users, load average: 0.00, 0.00, 0.00
75 processes: 74 sleeping, 1 running, 0 zombie, 0 stopped
CPU states:  cpu    user    nice  system  irq  softirq  iowait  idle
              total  1.9%   0.0%   0.9%   0.9%   0.0%   10.6%  85.4%
Mem:   511988k av, 494364k used, 17624k free, 0k shrd, 46104k buff
       354932k actv, 67572k in_d, 6848k in_c
Swap: 2048248k av, 17984k used, 2030264k free 269444k cached
  PID USER   PRI  NI  SIZE  RSS  SHARE STAT  %CPU  %MEM  TIME CPU COMMAND
 13993 admin  24   0 1152 1152  888 R    1.9  0.2  0:00 0 top
   1 root   15   0  512  480  448 S    0.0  0.0  0:04 0 init
   2 root   RT   0   0    0    0 SW   0.0  0.0  0:00 0 migration/0
   3 root   15   0   0    0    0 SW   0.0  0.0  0:00 0 keventd
   4 root   15   0   0    0    0 SW   0.0  0.0  0:03 0 kapmd
   5 root   34  19   0    0    0 SWN  0.0  0.0  0:00 0 ksoftirqd/0
   8 root   25   0   0    0    0 SW   0.0  0.0  0:00 0 bdf flush
   6 root   15   0   0    0    0 SW   0.0  0.0  0:01 0 kswapd
   7 root   15   0   0    0    0 SW   0.0  0.0  0:00 0 kscand
   9 root   15   0   0    0    0

```

show process name

`show process name process-name [file name] [cont] [detail | vm]`

シンタックスの説明

<i>process-name</i>	特定のプロセスを識別します。
file name	出力を別のファイルに保存します。
cont	コマンドを継続的に繰り返します。
detail	仮想メモリ、開始時刻などのプロセスの詳細情報を表示します。
vm	プロセスの仮想メモリを表示します。

コマンドモード

Admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

同じ名前を共有するプロセスの詳細を表示するために使用します。このコマンドでは、親子関係も表示されます。

例

```
admin:show process name servM detail
  PID  PPID  TID  %CPU  %MEM  S  USER      MINFL  MAJFL  RSS   VSZ           STARTED
COMMAND
7280   1    -   0.1   0.3  S  servmgr   21909   1962  7432  86140 Mon Jan 14 10:53:25 2008
/usr/local/platform/bin/servM
```


show process open-fd

show process open-fd *process-ID* [*file name*] [*cont*]

シンタックスの説明	<i>process-ID</i>	特定のプロセスを識別します。
	<i>file name</i>	出力を別のファイルに保存します。
	<i>cont</i>	コマンドを継続的に繰り返します。

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン プロセス ID をカンマで区切って指定し、開いているファイルの記述子のリストを表示するために使用します。

例

```
admin: show process open-fd 10554
```

COMMAND	PID	USER	FD	TYPE	DEVICE	SIZE	NODE	NAME
ntp_start	10554	root	cwd	DIR	8,1	4096	2	/
ntp_start	10554	root	rtd	DIR	8,1	4096	2	/
ntp_start	10554	root	txt	REG	8,1	585908	506215	/bin/bash
ntp_start	10554	root	mem	REG	8,1	13601	1077403	/lib/libdl-2.3.2.so
ntp_start	10554	root	mem	REG	8,1	1516255	587978	/lib/tls/libc-2.3.2.so
ntp_start	10554	root	mem	REG	8,1	5848	49258	/lib/csa/sse2/sse2_boost.so.1
ntp_start	10554	root	mem	REG	8,1	102480	1077387	/lib/ld-2.3.2.so
ntp_start	10554	root	mem	REG	8,1	124884	49255	/lib/csa/libcsa.so.6
ntp_start	10554	root	mem	REG	8,1	50783	1077423	/lib/libnss_files-2.3.2.so
ntp_start	10554	root	mem	REG	8,1	86486	587977	/lib/tls/libpthread-0.60.so
ntp_start	10554	root	mem	REG	8,1	11784	1077461	/lib/libtermcap.so.2.0.8
ntp_start	10554	root	mem	REG	8,1	21436	424691	/usr/lib/gconv/gconv-modules.cache
ntp_start	10554	root	mem	REG	8,1	32148976	326576	/usr/lib/locale/locale-archive

...

show process pid

`show process pid process-ID [file name] [cont] [detail | vm]`

シンタックスの説明

<i>process-ID</i>	特定のプロセスを識別します。
<i>file name</i>	出力を別のファイルに保存します。
cont	コマンドを継続的に繰り返します。
detail	仮想メモリ、開始時刻などのプロセスの詳細情報を表示します。
vm	プロセスの仮想メモリを表示します。

コマンドモード

Admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

指定したプロセス ID の詳細を表示するために使用します。

例

```
admin:show process pid 9117 vm
PID PPID TID NICE PCPU STATE ARGS
  PID TTY      STAT   TIME MAJFL  TRS   DRS  RSS %MEM COMMAND
 9117 ?          S    168:57 23927   15 962304 151944 7.3 /home/tomcat/tomcat
/home/tomcat/tomcatJlauncherConfig.xml
-Djava.library.path=/usr/local/lib:/usr/local/thirdparty/java/j2sdk/jre/lib/i386:/usr/local/thirdparty/java/j2sdk/jre/lib/i386/server:/usr/lib/pgsql:/usr/lib:/usr/local/cm/lib:/usr/local/platform/lib -
```

show process search

`show process search regex [file name]`

シンタックスの説明	パラメータ	説明
	<i>regex</i>	検索する特定の文字列（正規表現）を識別します。
	<i>file name</i>	出力を別のファイルに保存します。

コマンド モード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン オペレーティング システム固有のプロセス リストの出力で、特定のパターンを検索するために使用します。

例

```
admin:show process search Ciscodrf*
drf      12214      1  0 10:05 ?          00:00:10 /usr/local/platform/bin/CiscoDRFMaster
/usr/local/platform/conf/CiscoDRFMasterCfg.xml
drf      12239      1  0 10:05 ?          00:00:11 /usr/local/platform/bin/CiscoDRFLocal
/usr/local/platform/conf/CiscoDRFLocalCfg.xml
admin    28095 27709  0 14:37 pts/1      00:00:00 /bin/bash
/usr/local/platform/cli_scripts/listProcesses.sh -search Ciscodrf*
admin    28100 28095  0 14:37 pts/1      00:00:00 grep -i ciscodrf*
```

show process user

show process user *name* [*file name*] [*cont*] [*detail* | *vm*]

シンタックスの説明

<i>name</i>	ユーザ識別名
<i>file name</i>	出力を別のファイルに保存します。
<i>cont</i>	コマンドを継続的に繰り返します。
<i>detail</i>	仮想メモリ、開始時刻などのプロセスの詳細情報を表示します。
<i>vm</i>	プロセスの仮想メモリを表示します。

コマンドモード

Admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

ユーザ名を共有するプロセスの詳細を表示するために使用します。このコマンドでは、親子関係も表示されます。

例

```
admin:show process user admin
  PID  PPID  TID  %CPU  S  COMMAND
13342 13341 -   0.0  S  cliscript.sh
13423 13342 -   0.4  S  java
13689 13423 -   0.0  S  \_ listProcesses.s
13694 13689 -   0.0  R  \_ ps
13424 13342 -   0.0  S  java
13425 13342 -   0.0  S  java
13426 13342 -   0.0  S  java
13427 13342 -   0.0  S  java
13428 13342 -   0.1  S  java
13429 13342 -   0.0  S  java
13430 13342 -   0.0  S  java
...
```

show process using-most cpu

show process using-most cpu [*file name*] [*cont*] [*number*]

シンタックスの説明	file name	出力を別のファイルに保存します。
	cont	コマンドを継続的に繰り返します。
	number	表示するプロセスの数を定義します。デフォルトは 5 です。

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 最も CPU 中心のプロセスのリストを表示するために使用します。

例

```
admin:show process using-most cpu
 1.4  1  0  S 00:00:33 ./jre/bin/java -Djava.compiler=NONE -cp /usr/StorMan/RaidMan.jar
com.ibm.sysmgmt.raidmgr.agent.ManagementAgent
 1.4  1  0  S 00:00:30 /usr/local/cm/bin/amc /usr/local/cm/conf/amcCfg.xml
 1.6  0  0  S 00:00:38 /usr/local/cm/bin/cmoninit
 3.3  0  0  S 00:01:13 /usr/local/cm/bin/RisDC
 6.0  1  0  S 00:02:16 /home/tomcat/tomcat /home/tomcat/tomcatJlauncherConfig.xml
-Djava.library.path=/usr/local/lib:/usr/local/thirdparty/java/j2sdk/jre/lib/i386:/usr/loca
l/thirdparty/java/j2sdk/jre/lib/i386/server:/usr/lib/pgsql:/usr/lib:/usr/local/cm/lib::/us
r/local/platform/lib -Xmx512m -Xms256m -DLD_ASSUME_KERNEL
```

show process using-most memory

show process using-most memory [file name] [cont] [number]

シンタックスの説明

file name	出力を別のファイルに保存します。
cont	コマンドを継続的に繰り返します。
number	表示するプロセスの数を定義します。デフォルトは 5 です。

コマンドモード

Admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

最もメモリ中心のプロセスのリストを表示するために使用します。

例

```
admin:show process using-most memory
75564 /usr/local/cm/bin/cmoninit
75600 /usr/local/cm/bin/cmoninit
76428 /usr/local/cm/bin/cmoninit
117412 /usr/local/cm/bin/cmoninit
148832 /home/tomcat/tomcat /home/tomcat/tomcatJlauncherConfig.xml
-Djava.library.path=/usr/local/lib:/usr/local/thirdparty/java/j2sdk/jre/lib/i386:/usr/local/thirdparty/java/j2sdk/jre/lib/i386/server:/usr/lib/pgsql:/usr/lib:/usr/local/cm/lib::usr/local/platform/lib -Xmx512m -Xms256m -DLD_ASSUME_KERNEL=2.2.5 -Djava.end
```

show rtpsleap

show rtpsleap

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 現在の RTP スレッドのスリープ時間を取得するために使用します。

例
admin:show rtpsleap
Current RTP thread sleep time is 1 ms

show snmp trapdests

show snmp trapdests

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 設定されている Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) のトラップ宛先を表示するために使用します。

例

```
admin:show snmp trapdests
  1) Host = 64.101.180.49:162 (Version 3)

    Version 3 Options:
      User = TimTrap          PW = authpriv
      Level = authnopriv     hash = md5
      EngineID = 0x80001f8803001a6406bc16

  2) Host = 64.101.180.49 (Version 3)

    Version 3 Options:
      User = TimTrap2        PW = authpriv
      Level = authnopriv     hash = md5
      EngineID = 0x80001f8803001a6406bc16
```


show snmp users

show snmp users

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 設定されている簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) のユーザとコミュニティを表示するために使用します。

例

```
admin:show snmp users
1) Username: admin           Version: v3
   Level: AuthNoPriv        Mode: RW

2) Username: tim            Version: v3
   Level: AuthNoPriv        Mode: RW

3) Community: TimRO         Version: v2c
   Level: n/a                Mode: R

4) Community: TimRW         Version: v2c
   Level: n/a                Mode: RW
```

show statistics

show statistics {all | conference *confid*}

シンタックスの説明

all	すべての会議の統計情報を表示します。
conference <i>confid</i>	会議識別番号を使用して、指定の会議の統計情報を表示します。

コマンド モード

Admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

すべての会議または指定の会議の統計情報を表示するために使用します。

例

```
admin:show statistics all
[Media Statistics:2008/8/6 22:42:13.073588 UTC]

EndPoint[0]:ipaddr:172.20.233.55 confid:17 callid:217 epid:50 muxVersion:3 audio
port:16384 video port:16386 audio latency(ms):0 video latency(ms):0
epid type rxssrc txssrc state pmaxj cmaxj pjs cjs rxtl rxls txtl txls
dupl ooo srsw pmxsg cmxsg pmxpg cmxpg cmj
50 A a784011 16ca4111 1:1:1 7 7 0 0 147602 0:0 147592 0:0
0 0 1:1 0 0 26 26 0.85
50 A 0 5ae26112 0:0:1 6 8 0 0 0 0:0 147268 0:0
0 0 1:1 0 0 25 27 0.75
50 A 0 0 0:0:0 0 0 0 0 0 0:0 0 0:0
0 0 0:0 0 0 0 0 0.00
50 A 0 0 0:0:0 0 0 0 0 0 0:0 0 0:0
0 0 0:0 0 0 0 0 0.00
50 A 0 0 0:0:0 0 0 0 0 0 0:0 0 0:0
0 0 0:0 0 0 0 0 0.00
epid type rxssrc txssrc state pmaxj cmaxj pmaxd cmaxd pjs cjs pds cds rxtl
rxls txtl txls iIDR oIDR nak fbIs dupl ooo srsw pmxsg cmxsg pmxpg
cmxpg cmj
50 V a784011 16ca4011 1:0:1 2 3 32 34 0 0 0 0 2027
0:0 1352920 0:0 2 5 0 0 0 0 2:1 0 5 22
33 0.57
50 V 0 0 0:0:0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
0:0 0 0:0 0 0 0 0 0 0:0 0 0 0
0 0.00

EndPoint[1]:ipaddr:172.20.233.69 confid:17 callid:218 epid:1 muxVersion:3 audio port:16384
video port:16386 audio latency(ms):0 video latency(ms):0
epid type rxssrc txssrc state pmaxj cmaxj pjs cjs rxtl rxls txtl txls
dupl ooo srsw pmxsg cmxsg pmxpg cmxpg cmj
1 A 16ca4011 5ae26111 1:1:1 6 8 0 0 147602 0:0 147268 0:0
0 0 1:1 0 0 25 27 0.75
1 A 0 a784112 0:0:1 4 7 0 0 0 0:0 147266 0:0
0 0 1:1 0 0 21 24 2.22
```

```

1 A 0 0 0:0:0 0 0 0 0 0 0:0 0 0:0
0 0 0:0 0 0 0 0 0.00
1 A 0 0 0:0:0 0 0 0 0 0 0:0 0 0:0
0 0 0:0 0 0 0 0 0.00
1 A 0 0 0:0:0 0 0 0 0 0 0:0 0 0:0
0 0 0:0 0 0 0 0 0.00
epid type rxssrc txssrc state pmaxj cmaxj pmaxd cmaxd pjs cjs pds cds rxrtl
rxls txtl txls iIDR oIDR nak fbls dupl ooo srsw pmxsg cmxsg pmxpg
cmxpg cmj
1 V 16ca4011 5ae26011 1:1:1 2 5 33 34 0 0 0 0 0 1350788
0:0 1347710 0:0 2 4 0 0 0 0 3:3 0 16 16
33 0.55
1 V 0 0 0:0:0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
0:0 0 0:0 0 0 0 0 0 0 0:0 0 0 0
0 0.00

```

EndPoint[2]:ipaddr:172.20.233.82 confid:17 callid:219 epid:2 muxVersion:3 audio port:16384 video port:16386 audio latency(ms):0 video latency(ms):0

```

epid type rxssrc txssrc state pmaxj cmaxj pjs cjs rxrtl rxls txtl txls
dupl ooo srsw pmxsg cmxsg pmxpg cmxpg cmj
2 A 5ae26011 16ca4111 1:1:1 7 7 0 0 147604 0:0 147567 0:0
0 0 1:1 0 0 26 26 0.85
2 A 0 a784112 0:0:1 4 7 0 0 0 0:0 147266 0:0
0 0 1:1 0 0 21 24 2.22
2 A 0 0 0:0:0 0 0 0 0 0 0:0 0 0:0
0 0 0:0 0 0 0 0 0.00
2 A 0 0 0:0:0 0 0 0 0 0 0:0 0 0:0
0 0 0:0 0 0 0 0 0.00

```

```

epid type rxssrc txssrc state pmaxj cmaxj pmaxd cmaxd pjs cjs pds cds rxrtl
rxls txtl txls iIDR oIDR nak fbls dupl ooo srsw pmxsg cmxsg pmxpg
cmxpg cmj
2 V 5ae26011 16ca4011 1:1:1 3 4 32 34 0 0 0 0 1347866
0:0 1352810 0:0 4 4 1 0 0 0 2:1 0 1 22
33 1.38
2 V 0 0 0:0:0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
0:0 0 0:0 0 0 0 0 0 0 0:0 0 0 0
0 0.00

```

admin:show statistics conference 9059578056
[Media Statistics:2008/8/6 22:43:18.905158 UTC]

```

EndPoint[0]:ipaddr:172.20.233.55 confid:17 callid:217 epid:50 muxVersion:3 audio
port:16384 video port:16386 audio latency(ms):0 video latency(ms):0
epid type rxssrc txssrc state pmaxj cmaxj pjs cjs rxrtl rxls txtl txls
dupl ooo srsw pmxsg cmxsg pmxpg cmxpg cmj
50 A a784011 16ca4111 1:1:1 6 7 0 0 150894 0:0 150883 0:0
0 0 1:1 0 0 25 26 0.85
50 A 0 5ae26112 0:0:1 5 8 0 0 0 0:0 150559 0:0
0 0 1:1 0 0 25 27 0.77
50 A 0 0 0:0:0 0 0 0 0 0 0:0 0 0:0
0 0 0:0 0 0 0 0 0.00
50 A 0 0 0:0:0 0 0 0 0 0 0:0 0 0:0
0 0 0:0 0 0 0 0 0.00
50 A 0 0 0:0:0 0 0 0 0 0 0:0 0 0:0
0 0 0:0 0 0 0 0 0.00
epid type rxssrc txssrc state pmaxj cmaxj pmaxd cmaxd pjs cjs pds cds rxrtl
rxls txtl txls iIDR oIDR nak fbls dupl ooo srsw pmxsg cmxsg pmxpg
cmxpg cmj
50 V a784011 16ca4011 1:0:1 2 3 32 34 0 0 0 0 2027
0:0 1383047 0:0 2 5 0 0 0 0 2:1 0 5 23
33 0.57

```

show statistics

```
50 V 0 0 0:0:0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
0:0 0 0:0 0 0 0 0 0 0:0 0 0 0
0 0.00
```

EndPoint[1]:ipaddr:172.20.233.69 confid:17 callid:218 epid:1 muxVersion:3 audio port:16384 video port:16386 audio latency(ms):0 video latency(ms):0

```
epid type rxssrc txssrc state pmaxj cmaxj pjs cjs rxtl rxls txtl txls
dupl ooo srsw pmxsg cmxsg pmxpg cmxpg cmj
1 A 16ca4011 5ae26111 1:1:1 5 8 0 0 150893 0:0 150559 0:0
0 0 1:1 0 0 25 27 0.77
1 A 0 a784112 0:0:1 4 7 0 0 0 0:0 150558 0:0
0 0 1:1 0 0 21 24 2.22
1 A 0 0 0:0:0 0 0 0 0 0 0:0 0 0:0
0 0 0:0 0 0 0 0 0.00
1 A 0 0 0:0:0 0 0 0 0 0 0:0 0 0:0
0 0 0:0 0 0 0 0 0.00
1 A 0 0 0:0:0 0 0 0 0 0 0:0 0 0:0
0 0 0:0 0 0 0 0 0.00
epid type rxssrc txssrc state pmaxj cmaxj pmaxd cmaxd pjs cjs pds cds rxtl
rxls txtl txls iIDR oIDR nak fbfs dupl ooo srsw pmxsg cmxsg pmxpg
cmxpg cmj
1 V 16ca4011 5ae26011 1:1:1 2 5 33 34 0 0 0 0 1380914
0:0 1377800 0:0 2 4 0 0 0 0 3:3 0 16 12
33 0.55
1 V 0 0 0:0:0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
0:0 0 0:0 0 0 0 0 0 0:0 0 0 0
0 0.00
```

EndPoint[2]:ipaddr:172.20.233.82 confid:17 callid:219 epid:2 muxVersion:3 audio port:16384 video port:16386 audio latency(ms):0 video latency(ms):0

```
epid type rxssrc txssrc state pmaxj cmaxj pjs cjs rxtl rxls txtl txls
dupl ooo srsw pmxsg cmxsg pmxpg cmxpg cmj
2 A 5ae26011 16ca4111 1:1:1 6 7 0 0 150895 0:0 150858 0:0
0 0 1:1 0 0 25 26 0.85
2 A 0 a784112 0:0:1 4 7 0 0 0 0:0 150558 0:0
0 0 1:1 0 0 21 24 2.22
2 A 0 0 0:0:0 0 0 0 0 0 0:0 0 0:0
0 0 0:0 0 0 0 0 0.00
2 A 0 0 0:0:0 0 0 0 0 0 0:0 0 0:0
0 0 0:0 0 0 0 0 0.00
2 A 0 0 0:0:0 0 0 0 0 0 0:0 0 0:0
0 0 0:0 0 0 0 0 0.00
epid type rxssrc txssrc state pmaxj cmaxj pmaxd cmaxd pjs cjs pds cds rxtl
rxls txtl txls iIDR oIDR nak fbfs dupl ooo srsw pmxsg cmxsg pmxpg
cmxpg cmj
2 V 5ae26011 16ca4011 1:1:1 3 4 32 34 0 0 0 0 1377955
0:0 1382937 0:0 4 4 1 0 0 0 2:1 0 1 23
33 1.38
2 V 0 0 0:0:0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
0:0 0 0:0 0 0 0 0 0 0:0 0 0 0
0 0.00
```

show stats io

`show stats [file name] [kilo | detail] [page]`

シンタックスの説明	file name	出力情報をファイルに保存します。ファイルは、 <code>platform/cli/name.txt</code> で保存されます。 <code>name</code> オプションでは、ピリオド (.) を使用できません。
	kilo	キロバイト単位で詳細な統計情報を表示します。
	detail	システムで使用可能なデバイスごとに詳細な統計情報を表示します。このオプションは、 kilo オプションを無効にします。
	page	出力を一時停止します。

コマンド モード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン マシンのシステム I/O 統計情報を表示するために使用します。

例 `admin:show stats io kilo file statsiodump`

show status

show status

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 基本的なプラットフォーム ステータス情報を取得するために使用します。

例

```
admin:show status
Host Name      : testsys
Date           : Tue Dec 13, 2005 12:46:57
Time Zone      : UTC
Locale         : en_US.UTF-8
Product Ver    : 1.0.0.0-6
Platform Ver   : 2.0.0.0-1

Resources
CPU           Idle: 100.00%   System: 00.00%   User: 00.00%

Memory                Total           Free           Used
254984K
Disk/active           3020140K       1580608K       1286116K (45%)
Disk/inactive         3020172K       2833924K       32828K (2%)

admin:show status

Host Name      : tsbu-dhsr-76
Date           : Wed Aug 6, 2008 22:44:36
Time Zone      : UTC
Locale         : en_US.UTF-8
Product Ver    : 1.1.1.0-30
Platform Ver   : 2.0.0.1-1

Uptime:
22:44:37 up 5:02, 1 user, load average: 0.00, 0.00, 0.00

CPU Idle: 97.44% System: 00.51% User: 01.28%
IOWAIT: 00.00% IRQ: 00.00% Soft: 00.77% Intr/sec: 2998.98

Memory Total: 4087680K
Free: 3190292K
Used: 897388K
Cached: 262320K
Shared: 0K
Buffers: 68972K
```

	Total	Free	Used
Disk/active	4032124K	2117232K	1710064K (45%)
Disk/inactive	4032092K	1857492K	1969776K (52%)
Disk/logging	70438620K	63214064K	3646484K (6%)

show syslog facilities

show syslog facilities

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン メッセージのロギングに使用されているデフォルトの Syslog ファシリティを表示するために使用します。

例 admin:show syslog facilities

show syslog heartbeat facility

show syslog heartbeat facility

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン ハートビートメッセージに使用されている Syslog ハートビート ファシリティを表示するために使用します。

例 admin:show syslog heartbeat facility

show syslog heartbeat interval

show syslog heartbeat interval

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン Syslog ハートビートのインターバルを分単位で表示するために使用します。

例 admin:show syslog heartbeat interval

show syslog heartbeat msg

show syslog heartbeat msg

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン Syslog ハートビート メッセージのテキストを表示するために使用します。

例 admin:show syslog heartbeat msg

show syslog heartbeat severity

show syslog heartbeat severity

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン Syslog ハートビート メッセージに使用されている Syslog ハートビートの重大度を表示するために使用します。

例 admin:show syslog heartbeat severity

show syslog timezone

show syslog timezone

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン Syslog 時間帯の設定（現地時間または GMT/UTC）を表示するために使用します。

例 admin:show syslog timezone

show syslog version

show syslog version

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン Syslog 出力バージョンを表示するために使用します。

例 admin:show syslog version

show tech all

show tech all [page] [file name]

シンタックスの説明	file name	出力情報をファイルに保存します。ファイルは、platform/cli/name.txt で保存されます。 <i>name</i> オプションでは、ピリオド (.) を使用できません。
	page	出力を一時停止します。

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン すべての **show tech** コマンドから同時に出力を表示するために使用します。



(注) このコマンドを実行すると、大量のデータ出力が発生する可能性があります。

例 admin:show tech all file techdump

show tech network all

show tech network all [page] [file name] [search text]

シンタックスの説明	file name	出力情報をファイルに保存します。ファイルは、platform/cli/name.txt で保存されます。name オプションでは、ピリオド (.) を使用できません。
	page	出力を一時停止します。
	search text	text に指定された特定のテキスト文字列について出力を検索します。検索では、大文字と小文字を区別しません。

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン ノードに関連付けられているすべてのネットワーク関連の情報を表示するために使用します。

例

```
admin:show tech network all
<snip>
Settings for eth0:
  Supported ports: [ MII ]
  Supported link modes:   10baseT/Half 10baseT/Full
                        100baseT/Half 100baseT/Full
                        1000baseT/Half 1000baseT/Full
  Supports auto-negotiation: Yes
  Advertised link modes:  10baseT/Half 10baseT/Full
                        100baseT/Half 100baseT/Full
                        1000baseT/Half 1000baseT/Full
  Advertised auto-negotiation: Yes
  Speed: 1000Mb/s
  Duplex: Full
  Port: Twisted Pair
  PHYAD: 1
  Transceiver: internal
  Auto-negotiation: on
  Supports Wake-on: g
  Wake-on: d
  Current message level: 0x000000ff (255)
  Link detected: yes
<snip>
```


show tech network hosts

show tech network hosts [page] [file name] [search text]

シンタックスの説明	file name	出力情報をファイルに保存します。ファイルは、platform/cli/name.txt で保存されます。name オプションでは、ピリオド (.) を使用できません。
	page	出力を一時停止します。
	search text	text に指定された特定のテキスト文字列について出力を検索します。検索では、大文字と小文字を区別しません。

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン マシン ネットワークのホスト関連の情報を表示するために使用します。

例 admin:show tech network hosts

show tech network interfaces

show tech network interfaces [page] [file name] [search text]

シンタックスの説明	file name	出力情報をファイルに保存します。ファイルは、platform/cli/name.txt で保存されます。name オプションでは、ピリオド (.) を使用できません。
	page	出力を一時停止します。
	search text	text に指定された特定のテキスト文字列について出力を検索します。検索では、大文字と小文字を区別しません。

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン マシン ネットワークのインターフェイス関連の情報を表示するために使用します。

例 admin:show tech network interfaces

show tech network resolv

show tech network resolv [*page*] [*file name*] [*search text*]

シンタックスの説明	file name	出力情報をファイルに保存します。ファイルは、 <code>platform/cli/name.txt</code> で保存されます。 <i>name</i> オプションでは、ピリオド (.) を使用できません。
	page	出力を一時停止します。
	search text	<i>text</i> に指定された特定のテキスト文字列について出力を検索します。検索では、大文字と小文字を区別しません。

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン このデバイスの `resolv.conf` ファイルから特定の情報を表示するために使用します。

例 admin:show tech network resolv

show tech network routes

show tech network routes [page] [file name] [search text]

シンタックスの説明	file name	出力情報をファイルに保存します。ファイルは、platform/cli/name.txt で保存されます。name オプションでは、ピリオド (.) を使用できません。
	page	出力を一時停止します。
	search text	text に指定された特定のテキスト文字列について出力を検索します。検索では、大文字と小文字を区別しません。

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン このデバイスのルート関連の情報を表示するために使用します。

例 admin:show tech network routes

show tech network sockets

show tech network sockets [page] [file name] [search text] [numeric]

シンタックスの説明	file name	出力情報をファイルに保存します。ファイルは、platform/cli/name.txt で保存されます。 <i>name</i> オプションでは、ピリオド (.) を使用できません。
	page	出力を一時停止します。
	search text	<i>text</i> に指定された特定のテキスト文字列について出力を検索します。検索では、大文字と小文字を区別しません。
	numeric	ポートを数値形式で表示します。

コマンド モード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 開いているソケットのリストを表示するために使用します。**numeric** オプションを指定すると、シンボリック ホストを判別するのではなく、ポートの数値アドレスを表示できます。

例

```
admin:show tech network sockets numeric
----- show platform network -----

Network Connections:
Active Internet connections (w/o servers)
Proto Recv-Q Send-Q Local Address           Foreign Address         State
tcp        0      0 localhost:9000          localhost:32789        ESTABLISHED
tcp        0      0 localhost:32789         localhost:9000         ESTABLISHED
tcp        0      48 tsbu-kht9.cisco.com:22 sjc-tifox-8712.cisco.c:3445 ESTABLISHED
udp        0      0 localhost:32768         localhost:514          ESTABLISHED

Active UNIX domain sockets (w/o servers)
Proto RefCnt Flags       Type       State      I-Node Path
unix   2        [ ]        DGRAM          16220
/usr/local/platform/conf/clm/unix_socket
unix   2        [ ]        DGRAM          8434  @/var/run/hal/hotplug_socket
unix   2        [ ]        DGRAM          3352  @udev
unix  13        [ ]        DGRAM          6581  /dev/log
unix   3        [ ]        DGRAM          6600  /dev/log2
unix   2        [ ]        DGRAM          2049109
unix   3        [ ]        STREAM        CONNECTED  2043836
unix   3        [ ]        STREAM        CONNECTED  2043835
unix   2        [ ]        DGRAM          252061
unix   2        [ ]        DGRAM          251977
unix   2        [ ]        DGRAM          251967
unix   2        [ ]        DGRAM          16316
unix   2        [ ]        DGRAM          16222
<snip>
```

show tech runtime all

show tech runtime all [page] [file name]

シンタックスの説明	file name	出力情報をファイルに保存します。ファイルは、platform/cli/name.txt で保存されます。name オプションでは、ピリオド (.) を使用できません。
	page	出力を一時停止します。

コマンド モード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン すべての show tech runtime 情報を同時に表示するために使用します。

例 admin:show tech runtime all

show tech runtime cpu

show tech runtime cpu [page] [file name]

シンタックスの説明	file name	出力情報をファイルに保存します。ファイルは、platform/cli/name.txt で保存されます。 <i>name</i> オプションでは、ピリオド (.) を使用できません。
	page	出力を一時停止します。

コマンド モード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン このコマンドの実行時の CPU 使用状況（最上位）を表示するために使用します。

例 admin:show tech runtime cpu

show tech runtime disk

show tech runtime disk [page] [file name]

シンタックスの説明

file name	出力情報をファイルに保存します。ファイルは、 <code>platform/cli/name.txt</code> で保存されます。 <code>name</code> オプションでは、ピリオド (.) を使用できません。
page	出力を一時停止します。

コマンド モード

Admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

システムのディスク使用状況を表示するために使用します。

例

```
admin:show tech runtime disk
```


show tech runtime env

show tech runtime env [page] [file name]

シンタックスの説明	file name	出力情報をファイルに保存します。ファイルは、platform/cli/name.txt で保存されます。 <i>name</i> オプションでは、ピリオド (.) を使用できません。
	page	出力を一時停止します。

コマンド モード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 実行時の環境変数を表示するために使用します。

例 admin:show tech runtime env

show tech runtime memory

show tech runtime memory [page] [file name]

シンタックスの説明	file name	出力情報をファイルに保存します。ファイルは、platform/cli/name.txt で保存されます。name オプションでは、ピリオド (.) を使用できません。
	page	出力を一時停止します。

コマンド モード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 実行時のメモリ情報を表示するために使用します。

例

```
admin:show tech runtime memory
----- show platform runtime -----

Total memory (RAM+swap) usage (in KB):
      total      used      free      shared      buffers      cached
Mem:    4086472   959588   3126884         0       111964       345376
-/+ buffers/cache:  502248   3584224
Swap:    2048248         0   2048248
Total:   6134720   959588   5175132
```

show tech system all

show tech system all [page] [file name]

シンタックスの説明	file name	出力情報をファイルに保存します。ファイルは、platform/cli/name.txt で保存されます。 <i>name</i> オプションでは、ピリオド (.) を使用できません。
	page	出力を一時停止します。

コマンド モード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン **show tech system** コマンドに関連するすべての情報を同時に表示するために使用します。

例 admin:show tech system all

show tech system bus

show tech system bus [page] [file name]

シンタックスの説明	file name	出力情報をファイルに保存します。ファイルは、platform/cli/name.txt で保存されます。name オプションでは、ピリオド (.) を使用できません。
	page	出力を一時停止します。

コマンド モード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン バス関連のシステム情報を表示するために使用します。

例

```
admin: show tech system bus
----- show platform system -----

Hardware: pci bus devices summary
00:00.0 Host bridge: Intel Corporation E7520 Memory Controller Hub (rev 0c)
00:02.0 PCI bridge: Intel Corporation E7525/E7520/E7320 PCI Express Port A (rev 0c)
00:06.0 PCI bridge: Intel Corporation E7520 PCI Express Port C (rev 0c)
00:1d.0 USB Controller: Intel Corporation 82801EB/ER (ICH5/ICH5R) USB UHCI Controller #1
(rev 02)
00:1d.1 USB Controller: Intel Corporation 82801EB/ER (ICH5/ICH5R) USB UHCI Controller #2
(rev 02)
00:1d.2 USB Controller: Intel Corporation 82801EB/ER (ICH5/ICH5R) USB UHCI Controller #3
(rev 02)
00:1d.3 USB Controller: Intel Corporation 82801EB/ER (ICH5/ICH5R) USB UHCI Controller #4
(rev 02)
00:1d.7 USB Controller: Intel Corporation 82801EB/ER (ICH5/ICH5R) USB2 EHCI Controller
(rev 02)
00:1e.0 PCI bridge: Intel Corporation 82801 PCI Bridge (rev c2)
<snip>
```

show tech system hardware

show tech system hardware [page] [file name]

シンタックスの説明	file name	出力情報をファイルに保存します。ファイルは、platform/cli/name.txt で保存されます。name オプションでは、ピリオド (.) を使用できません。
	page	出力を一時停止します。

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン ハードウェア関連のシステム情報を表示するために使用します。

例

```
admin:show tech system hardware
----- show platform system -----

Hardware Model: 7845H
Processors      : 2
Type           : Intel(R) Xeon(TM) CPU 3.40GHz
Speed          : 3400 MHz
Memory         : 4096 MB
```

show tech system host

show tech system host [page] [file name]

シンタックスの説明

file name	出力情報をファイルに保存します。ファイルは、platform/cli/name.txt で保存されます。 <i>name</i> オプションでは、ピリオド (.) を使用できません。
page	出力を一時停止します。

コマンド モード

Admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

ホスト関連のシステム情報を表示するために使用します。

例

```
admin:show tech system host
----- show platform system -----

Host related info:

Machine Name: <snip>
Tue Feb  3 01:57:40 UTC 2009 - up for 20 days  7:38  1 user  load average: 0.00 0.00 0.00
Locale LANG=
```

show tech system kernel modules

show tech system kernel modules [page] [file name]

シンタックスの説明	file name	出力情報をファイルに保存します。ファイルは、platform/cli/name.txt で保存されます。 <i>name</i> オプションでは、ピリオド (.) を使用できません。
	page	出力を一時停止します。

コマンド モード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン インストールされているカーネル モジュールのリストを表示するために使用します。

例

```
admin:show tech system kernel modules
----- show platform system -----

Linux Kernel modules loaded:
Module           Size  Used by
deflate          7489  0
zlib_deflate     24537  1 deflate
twofish          40897  0
serpent          17601  0
aes              32513  0
blowfish         14145  0
des              15681  0
sha256           13249  0
crypto_null      6209   0
af_key           34257  2
srtpkmod         10128  2
<snip>
```

show tech system software

show tech system software [page] [file name]

シンタックスの説明	file name	出力情報をファイルに保存します。ファイルは、platform/cli/name.txt で保存されます。name オプションでは、ピリオド (.) を使用できません。
	page	出力を一時停止します。

コマンド モード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン システム関連のソフトウェア情報を表示するために使用します。

例

```
admin:show tech system software
----- show platform system -----

Software Release Version: 1.5.0.0-217
Platform Release Version: 2.0.0.1-1
```


show tech system tools

show tech system tools [page] [file name]

シンタックスの説明	file name	出力情報をファイルに保存します。ファイルは、platform/cli/name.txt で保存されます。 <i>name</i> オプションでは、ピリオド (.) を使用できません。
	page	出力を一時停止します。

コマンド モード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.5	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン システム関連のツール情報を表示するために使用します。

例

```
admin:show tech system tools
----- show platform system -----

software: system versions
java version "1.5.0_14"
Java(TM) 2 Runtime Environment, Standard Edition (build 1.5.0_14-b03)
Java HotSpot(TM) Server VM (build 1.5.0_14-b03, mixed mode)

<snip>
```

show threshold

show threshold

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 現在の最大バースト パケットのしきい値を取得するために使用します。

例

```
admin: show threshold
Current max burst packet threshold is 20
```

関連コマンド	コマンド	説明
	なし	

show timezone

show timezone {config | list}

シンタックスの説明

config	現在の時間帯設定を表示します。
list	使用可能なすべての時間帯を表示します。

コマンドモード

Admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン

現在の時間帯設定または使用可能なすべての時間帯をロング フォーマットで表示するために使用します。



(注)

先頭の値は、時間帯インデックスです。set timezone コマンドで新しい時間帯を設定するときに使用できます。時間帯の名前を使用することもできます。

例

```
admin:show timezone list

 0 - (GMT-12:00) Eniwetok, Kwajalein
 1 - (GMT-11:00) Midway Island, Samoa
 2 - (GMT-10:00) Hawaii

Current timezone: (GMT+10:00) Canberra, Melbourne, Sydney
Current timezone: (GMT+10:00) Canberra, Melbourne, Sydney

The numbers in first column 0, 1, 2 represent index that can be used in set timezone
command

 0 - (GMT-12:00) Eniwetok, Kwajalein
 1 - (GMT-11:00) Midway Island, Samoa
 2 - (GMT-10:00) Hawaii
 3 - (GMT-09:00) Alaska
 4 - (GMT-08:00) Pacific Time (US & Canada)
 5 - (GMT-07:00) Arizona
 6 - (GMT-07:00) Mountain Time (US & Canada)
 7 - (GMT-06:00) Central Time (US & Canada)
 8 - (GMT-06:00) Central America
 9 - (GMT-06:00) Saskatchewan
10 - (GMT-06:00) Mexico City
11 - (GMT-05:00) Bogota, Lima, Quito
12 - (GMT-05:00) Indiana (East)
13 - (GMT-05:00) Eastern Time (US & Canada)
14 - (GMT-04:00) Atlantic Time (Canada)
15 - (GMT-04:00) Caracas, La Paz
16 - (GMT-04:00) Santiago
17 - (GMT-03:30) Newfoundland
```

■ show timezone

```
18 - (GMT-03:00) Brasilia
19 - (GMT-03:00) Greenland
20 - (GMT-03:00) Buenos Aires, Georgetown
21 - (GMT-02:00) Mid-Atlantic
22 - (GMT-01:00) Azores
Press <enter> for 1 line, <space> for one page, or <q> to quit
```

show version

`show version {active | inactive}`

シンタックスの説明		
	active	アクティブパーティションにあるソフトウェアのバージョン番号を表示します。
	inactive	非アクティブパーティションにあるソフトウェアのバージョン番号を表示します。

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン 非アクティブまたはアクティブパーティションにあるソフトウェアのバージョン番号に関する情報を表示するために使用します。

例

```
admin:show version active
Active Master Version: 1.1.1.0-30

Active Version Installed Software Options:
No Installed Software Options Found.
```

show workingdir

show workingdir

シンタックスの説明 なし

コマンドモード Admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	1.1	このコマンドは初めて文書化されました。

使用上のガイドライン activelog、inactivelog、および TFTP システム ディレクトリの現在の作業ディレクトリを表示するために使用します。

例

```
admin:show workingdir
```

```
activelog : <not set, using default path>
inactivelog : <not set, using default path>
tftp : <not set, using default path>
```